



ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)
SAN'IN ダイバーシティ推進ネットワーク
～多様な力で地域の未来をつくる～



HIROSHIMA UNIVERSITY

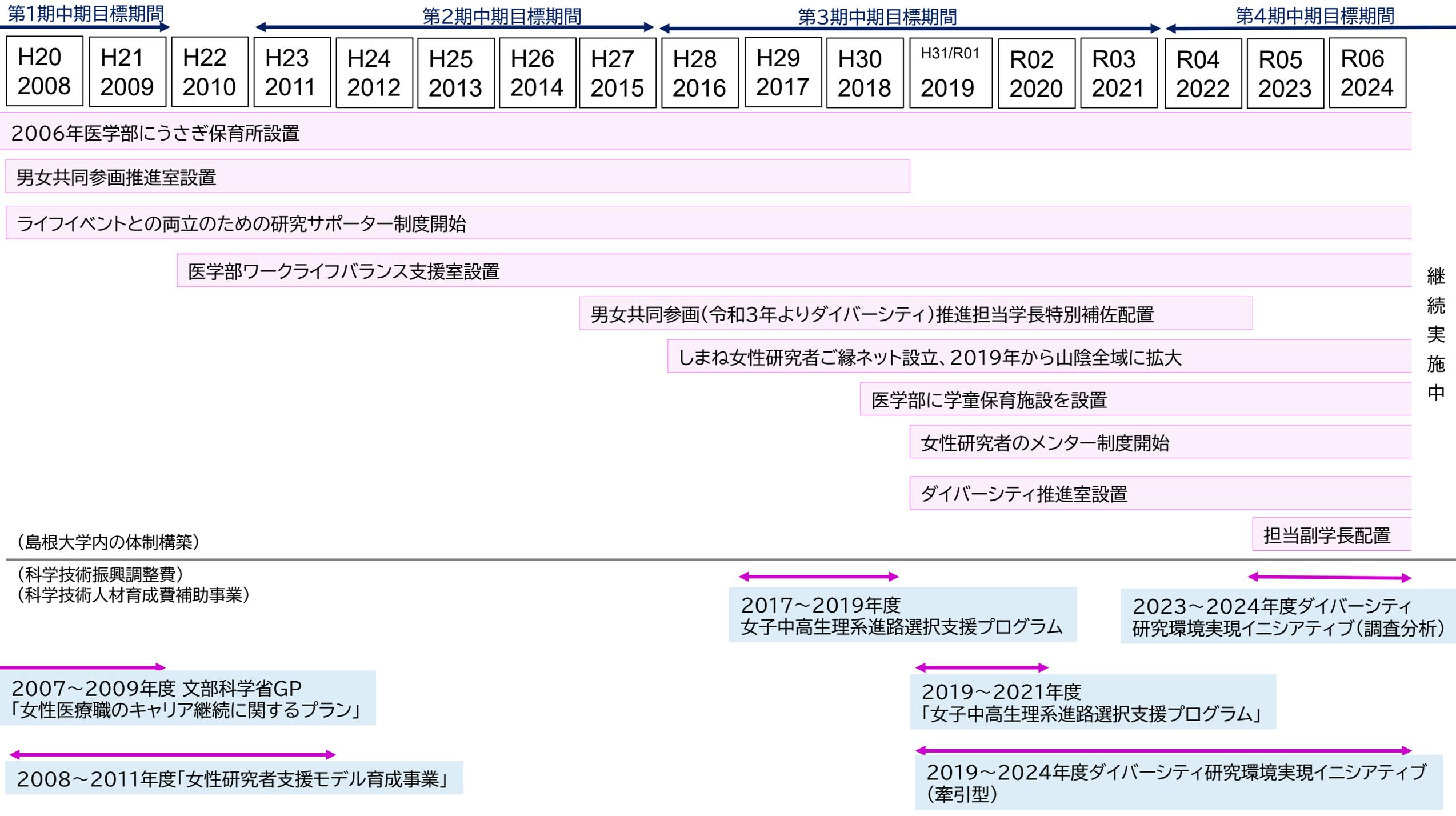


人とともに 地域とともに
島根大学
SHIMANE UNIVERSITY

島根大学の取組から見えてきた 若手・女性研究者評価の課題

島根大学副学長 (SDGs・ダイバーシティ担当)

河野 美江



2019～

(牽引型)



3. 女性研究リーダーの育成

1. SANINご縁ネットミーティングで研究発表して共同研究者を探し



2. 女性研究リーダー育成支援事業で研究の芽を育て

共同研究型
4機関に所属する常勤の女性研究者が、他のいずれかの機関に所属する研究者と共同して行う研究に対し、研究費を助成

3. 科研費採択に！

4機関で
2121年度26件
2022年度27件
2023年度26件
2024年度32件の科研費採択

まとめ

- 若手女性研究者の出産，育児と研究との両立が課題
- 育児休業等取得期間中も，研究環境を維持し続けられる仕組みが必要
- ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）による取組の促進によって女性研究者の採用は増えたが，特に若手助教の育成に課題がある
- 若手に対するスタートアップ研究費や他の研究者とのネットワークを支援することは重要である
- オンライン勤務の仕組みの構築と学内の意見の調整が重要と考えられた